

第1試合

$$\text{丹生高校 } 0 \begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix} 1 \text{ 八頭高校}$$

得点	<丹生>		
	<八頭>55分#11岡垣空		
戦評	<p>丹生高等学校のセンターパスにより、第1Qが開始された。開始早々、両者激しい攻防が繰り広げられる。丹生はカウンターから相手陣地に攻め込むも、八頭高等学校の堅い守備に阻まれる。10分八頭がドリブル突破からPCを取得。#10中口がドラッグシュートを放つも、丹生GK#1牛若の好セーブにより得点には至らない。</p> <p>第2Q、17分丹生#3芦澤のセンターリングを#8宮川がリバーシシュートを放つも、枠を捉えることが出来ない。その後も、丹生は果敢に攻め込み、#11野尻がヒットシュートを放つも得点には至らない。対する八頭は華麗なパスワークで攻め込むもチャンスを作ることが出来ない。0-0の同点のまま前半が終了。</p> <p>第3Q、丹生のセンターリングを、#10佐々木がスライディングで飛び込むも得点には至らない。その後も、一進一退の攻防が続く。</p> <p>第4Q、八頭#9寺谷が右サイドからドリブル突破でサークルへ進入し、リバーシシュートを放つも丹生の粘り強い守備に阻まれる。八頭が威圧的な攻撃を仕掛け、55分#11岡垣空がサークル内で相手のボールを奪い、リバーシシュートを放ち待望の1点を挙げる。得点が欲しい丹生も終了間際にPCを取得するも、シュートを放つことが出来ない。そのまま試合が終了。1-0で八頭高等学校が勝利し、念願の初優勝を果たした。</p>		
テクニカルオフィサー	中野典子	アンパイア	湯澤健人
ジャッジ	要石・中村・井上		稲元南